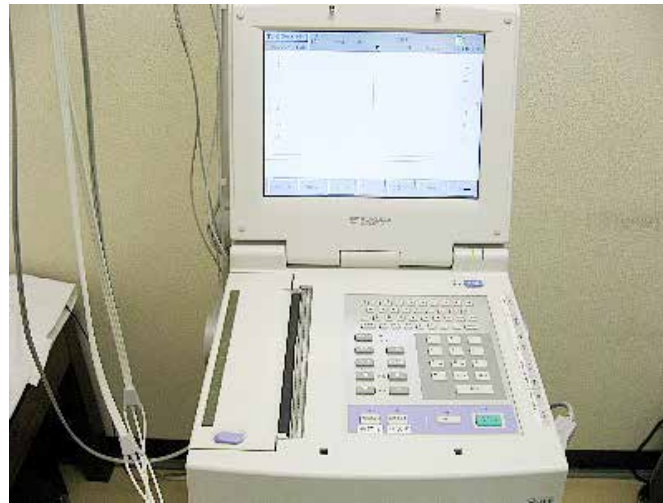


自動分析6ch心電計

心臓が収縮する時に生じるきわめて小さな電気信号を体表面から取り出し、心電図計で記録したものが心電図です。この波形から心臓の病気の診断をしたり、治療を行ったりします。



■ 脳波検査とは

人間が生きている限り、脳に限らず心臓にしても筋肉にしても人間の体には何らかの電気活動があります。脳が働いている時の電気活動を脳波計でとらえたものが脳波検査(EEG)です。脳の神経の働きをみる検査です。

頭にたくさんの電極をつけて、ビリビリと電流を感じるのではとご心配の方がいらっしゃいますが、脳の電気活動を電極から脳波計にキャッチしているのであって、脳波計から電気刺激を与える検査ではありませんのでご安心ください。

■ 心電図検査の流れ

- 1) 両手首、両足首を出します。
↓
- 2) 上半身裸になり、仰向けに寝ます。
↓
- 3) 両手首、両足首、胸部6箇所電極をつけます。
↓
- 4) 全身の力を抜きます。
↓
- 5) 約5分程で検査終了です。

注意事項は特にありませんが、検査直前の激しい運動は控えてください。

■ 負荷心電図検査の流れ

平静時には何もなくても、負荷をかけることによって心臓に異常が現れることがあります。この状態を意図的に誘発する検査です。

- 1) 心電図をとります。
↓
- 2) 2段の階段をリズムに合わせて昇り降りします。(回数は年齢、性別、体重により変化)
↓
- 3) 1分30秒もしくは、3分昇り降りした後、ベッドに仰向けになります。
↓
- 4) 直後、1分～終了までの心電図をとります。
↓
- 5) 約15分程かかります。

注意事項としましては、運動をしますので、体調の悪い方は事前に申し出てください。また、検査中気分が悪くなった方は、直ちに申し出てください。